

日本共産党



党多摩市くらし若者相談室長

上杉ただし

私は被爆地長崎の出身です。祖母をはじめたくさんの方の被爆者からさまざまな体験を聞いてきました。核兵器をなくせ！戦争はやめろ！の声を皆さんと一緒に全力で発信していきます。

補聴器購入費助成・高すぎるUR団地の家賃引き下げ・障がい者福祉や地域医療を守るために厚生荘病院早期再開など皆さんの切実な声をしっかりと議会に届けます。困っている人にしっかりと寄り添う市政を作っていきます。

全力で頑張っていきます。ご支援をよろしくお願い致します。

上杉ただし

安斉きみ子市議からバトンタッチ！

みなさんの願いを、 今度は上杉ただしさんへ

6期21年、永山、和田（東寺方、落川、百草含む）地域のみなさまには大変お世話になりました。私の人生の要は障がいを持つ方たちと共に過ごしたことにあります。それは障がい者の方たちが輝いて生きる社会こそ、だれもが幸せに生きる社会だと信じてきたからです。社会を変えたいという私の原点であり共産党員としての原点でもあります。

上杉さんは理数系に強い人です。理論的な彼の文章を読むと理性と誠実さを感じます。これまで私とともに、障がい者の通所施設など訪問し、現場の声を受け止め学んできました。

突然閉院した和田の厚生荘病院の問題では「厚生荘病院を守る会」の立ち上げにも参加。経営者への申入れや市長との懇談にも参加してきました。

そして今、岸田政権の大軍拡は、「平和か戦争への道か」が問われる重要な選択の時期です。長崎市生まれの被爆3世で平和が原点の政治家、上杉ただしへのご支援をよろしくお願いいたします。

私も「平和と暮らし」を守るため上杉ただしさんを押し上げるために、全力でがんばります。

安斉きみ子



民報多摩

2023年3月号外 発行責任者 古田周 多摩市芝田 1223-101
日本共産党南多摩地区委員会は見解を発表しました。

お問い合わせ先

日本共産党南多摩地区委員会
042-374-4384



祖母とツーショット

ナガサキ生まれ、被ばく3世「平和が原点」…上杉ただしです

私は長崎市生まれの43歳。被爆者の祖母から「戦争はしてはいけない、ましてや核兵器は絶対使ってはならない」と聞かされて育ちました。

核兵器の使用をちらつかせて世界に脅しをかけるロシアのプーチン大統領の発言がある今、平和へのみなさんの思いは私、上杉ただしにお寄せください。

困っている人にやさしい市政へ

URの高すぎる家賃

共産党市議団、笠井亮国会議員と共に、UR本社、国交省との懇談を行いました。高すぎる家賃に苦しむ住民の声を伝えました。引き続き家賃引き下げにがんばります。

永山3丁目に乗合タクシーの配備を

署名活動にも取り組み、交通の便を図って欲しいという切実な要望を市の交通対策担当課長に伝えました。2024年度には予算をつけたいという課長さんに「急いで欲しい」と伝えました。

厚生荘病院の再開めざして全力

経営者側に一方的な閉院を強いられましたが、住民の運動に押されて5月診療所の開設予定です。入院もできる病院の再開めざして全力をあげます。



上杉さん！私たちの願い実現にがんばって！
永山3丁目のSさん

歳を重ねると足腰が弱くなり、病院や買い物に行くのも大変です。ミニバスをこの地域にも走らせて欲しいという願いをご近所の方と相談。さっそく「永山3丁目の交通問題を考える会」を立ち上げ、会のメンバーに上杉ただしさんにも入ってもらいました。先日集めた署名「永山3丁目住宅地域にデマンド型乗合タクシー配備を求める要望書」を持参して、多摩市の担当課長と懇談。課長さんは前向きで「走らせるならぜひみなさんが使いやすいものにしたい」との答えでした。

上杉さん！ぜひ市政の場に出て私たちの切なる願いの実現にがんばって欲しいです。



日本共産党の躍進で審判を！ 岸田政権NO!

戦争の準備ではなく平和の外交を！物価高騰から暮らしと経済を守る